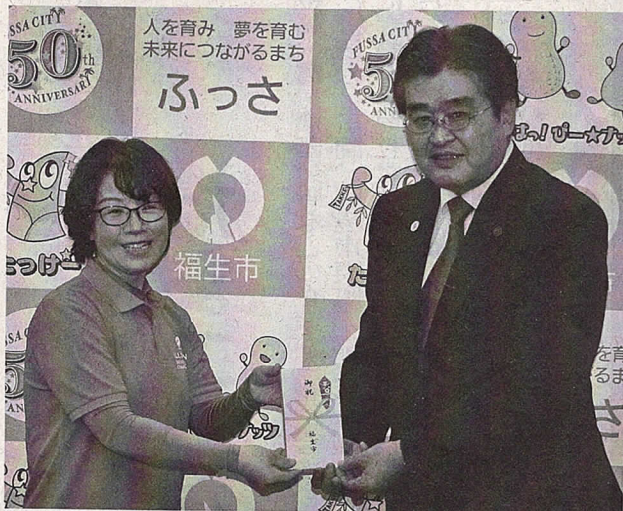


「上を目指しチャレンジしたい」



福生 本井 恵さん

バウンドテニス全国大会へ

福生市バウンドテニス協会会長の本井恵さん(52、同市福生)はこのほど、「第38回全日本バウンドテニス選手権大会 東京都出場者選考大会」の女子ダブルスの部で優勝。4月3日(金)に調布市の武蔵野の森総合スポーツプラザで開かれる第38回全日本バウンドテニス選手権大会へ出場を決めた。本井さんの全国出場は1年ぶり5度目で、2月19日には同市を訪れ加藤育男市長に出場を報告した(写真・松本麻紀子)

バウンドテニスは、狭い場所でも手軽にできる。テニスコートと同じルールで、できるスポーツとして考

案され、テニスコート6分の1の面積でプレーできるため、生涯スポーツとして幅広い年代の競技者がいる。バウンドテニスを30代後半から始めた本井さん。軟式テニス経験者で、子どもの保護者つながりで教室を訪れたのが始まり。「最初はコートがテニスに比べて狭く戸惑ったが、上手になりたいと思い続けてきた」と笑顔。最初は健康のためだったが、次第に打ち合いやラリーの気持ち良さに

どに夢中になった。

選手権大会に初出場したのは2015年。

全国ベスト8に輝き、翌年は全国準優勝と活躍。カテゴリーも16歳以上の部のため、時に高校生や大学生と対戦するなど、年齢に負けない技術の高さが求められる。

普段は家事代行サービスの仕事をしながら、週2回の練習に励む。「続けて来られたのは、選手権に出たい」と、地方に遠征したくさんの仲間に出会えたのも大きい。私生活も年齢の高い人たちがらたくさんアドバイスをもらえるのもうれしかった」と本井さん。

現在、協会ではジュニア選手の育成もしており、「私が選手として受け継いできたものを、下の子たちに引き継ぎたい。バウンドテ

ニスのおかげと感謝しています」とほほ笑む。

今大会は以前とは違

うペアでの初戦。大会に向け「緊張しないよう心掛け、いい成績が収められればいい。上を目指してチャレンジしていきたい」と、笑顔で決意を語った。

同協会では会員を募集中。練習は毎週水曜、日曜日の午後7時30分から、同市立第一中体育館。見学自由。

Since 1950 Nishitama Shinbun 創刊 70周年

8面 70周年ミニ特集 こんな記事もありました①

4・5面 リエゾン 岩蔵ロマンチック街道

青梅市 雛人形展示 福島家住宅などで 7

福生市 あじさいリハビリステーション 大人の体操教室が好評 3

羽村市 スタインウェイが弾ける 4月、ステージ体験 3

あきる野市 秋川キララホール 開館30周年でコンサート 7

記念式典開催

9市町村の	
青梅市	3・長2後・教2日・2季・2で・所弁時2・職2週・み・るや2・(・館放2入・や
福生市	
羽村市	
あきる野市	
瑞穂町	
日の出町	
奥多摩町	
檜原村	
昭島市	

真夜中の川で

みそぎ

ふんどし姿の男たち

が真夜中に川でみそぎをし、火打ち石で火をおこして米を炊く伝統の「御飼(おとう)神事」が1日と2日、檜原村本宿の春日神社で行われた。「御当番」を務めた男性たちが2日深夜、秋川に入って身を清めた。渡辺勝也撮影。

(記事3面)



篠田さん(右)と伊藤さん

檜原